

令和2年度
事業報告書



新たなつながりと支え合いが育む
ふだんの 暮らしの しあわせ

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会

目次

1. 法人運営部門	3
(1) 会務の運営	4
(2) 人材育成	7
(3) 財務	7
(4) 職場の福利厚生	8
(5) 第3次発展・強化計画への取組み及び進捗管理	8
(6) その他の事業	9
2. 地域福祉推進部門	10
(1) はんのうふくしの森プラン推進事業	11
(2) コミュニティソーシャルワーク事業	12
(3) 小地域福祉活動推進事業	13
(4) 生活支援体制整備事業（飯能市受託事業）	15
(5) 福祉教育推進事業	16
(6) ボランティアセンター運営事業	16
(7) 外出支援（移送サービス）事業	18
(8) たすけあいサービス事業	18
(9) 歳末たすけあい義援金配分事業	19
(10) 経済的支援事業	19
(11) 権利擁護事業	20
(12) 基幹型地域包括支援センター事業（飯能市受託事業）	21
(13) 居宅介護支援事業（指定居宅介護支援事業所 けあ・しゃきょう）	22
(14) 広報啓発事業	23
3. 指定管理部門	25
(1) 総合福祉センター（飯能市受託事業）	26
(2) 身体障害者福祉センター事業（飯能市受託事業）	26
(3) 老人福祉センター事業（飯能市受託事業）	27
(4) 児童センター事業（飯能市受託事業）	27
(5) 美杉台児童館（飯能市受託事業）	27
(6) 共催事業	28
(7) その他の取組	28

本文中の表記について

- 各事業は令和2年4月1日から令和3年3月31日の間に実施した事業となりますので、開催年の表記は省略しました。
- 全ての実績は令和3年3月31日現在です。

1. 法人運営部門

(1) 会務の運営

① 役員会等の開催

(ア) 理事会の開催

開催回数：4回、うち書面決議2回

開催日	議案等
<p>【書面決議】 提案日 5月15日(金)</p>	<p>(報告)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会監事監査の結果について <p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会決算の承認について 3. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 4. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分身体障害者福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 5. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分老人福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 6. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分児童センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 7. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 8. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 9. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 10. 評議員会の決議の省略について <p>《決議》 全ての理事から「理事会決議事項についての同意書」を、また全ての監事から「理事会決議事項についての確認書」の提出を受けた。</p>
<p>7月22日(水) 出席理事10人 出席監事1人</p>	<p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定款第18条第2項に定める役員の選任について 2. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 3. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について <p>(報告)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年3月以降の本会の活動状況について 2. セブン-イレブんと共催による移動販売の実証実験について
<p>12月22日(火) 出席理事9人</p>	<p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地

出席監事 3 人	<p>域福祉推進事業拠点区分生活福祉資金貸付事業サービス区分補正収支予算（第 1 次）（案）</p> <p>2. 令和 2 年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算（第 2 次）（案）</p> <p>3. 令和 2 年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算（第 2 次）（案）</p> <p>4. 令和 2 年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算（第 2 次）（案）</p> <p>5. 令和 2 年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会公益事業区分相談支援事業拠点区分居宅介護支援事業サービス区分補正収支予算（第 1 次）（案）</p> <p>6. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会非常勤職員の給与に関する規程の一部を改正する規程（案）</p> <p>7. 評議員会の招集について ※新型コロナウイルス感染症の市内感染状況を鑑み、状況により書面決議とすることの条件により同意を得る。 結果、感染症拡大のため、書面決議とすることになった。 （報告）</p> <p>1. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員の選任について</p> <p>2. 定款第 21 条第 5 項に基づく会長及び常務理事の業務執行状況について</p> <p>3. 総合福祉センター送迎バスの廃止について</p> <p>4. 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の街頭募金不実施について</p>
<p>【書面決議】 提案日 3 月 12 日（金）</p>	<p>（議事）</p> <p>1. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会令和 3 年度事業計画（案）</p> <p>2. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会令和 3 年度資金収支予算（案）</p> <p>3. 評議員会の決議の省略について</p> <p>4. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会会長の利益相反等にかかる取引事項について</p> <p>《決議》 全ての理事から「理事会決議事項についての同意書」を、また全ての監事から「理事会決議事項についての確認書」の提出を受けた。 （報告）</p> <p>1. 定款第 21 条第 5 項に基づく会長及び常務理事の業務執行状況について</p>

(イ) 監事会の開催

開催回数：1 回

開催日	議案等
5 月 13 日（水） 出席監事 3 人	1. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会業務監査並びに財務監査

(ウ) 評議員会の開催

開催回数：3 回、うち書面決議 3 回

開催日	議案等
<p>【書面決議】 提案日 5 月 29 日（金）</p>	<p>（報告）</p> <p>1. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会監事監査の結果について</p>

	<p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 令和元年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会決算の承認について 3. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 4. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分身体障害者福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 5. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分老人福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 6. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分児童センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 7. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 8. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 9. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会理事の選任について <p>《決議》 全ての評議員から「評議員会決議事項についての同意書」の提出を受けた。</p>
<p>【書面決議】 提案日 1月15日(金)</p>	<p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分生活福祉資金貸付事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) 2. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分法人運営事業サービス区分補正収支予算(第2次)(案) 3. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分総合福祉センター受託経営事業サービス区分補正収支予算(第2次)(案) 4. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会社会福祉事業区分指定管理事業拠点区分美杉台児童館受託経営事業サービス区分補正収支予算(第2次)(案) 5. 令和2年度社会福祉法人飯能市社会福祉協議会公益事業区分相談支援事業拠点区分居宅介護支援事業サービス区分補正収支予算(第1次)(案) <p>《決議》 全ての評議員から「評議員会決議事項についての同意書」の提出を受けた。</p>
<p>【書面決議】 提案日</p>	<p>(議事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会令和3年度事業計画(案)

3月18日（金）	2. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会令和2年度資金収支予算（案） ≪決議≫ 全ての評議員から「評議員会決議事項についての同意書」の提出を受けた。
----------	---

(エ) 評議員選任・解任委員会の開催 開催回数：1回

開催日	議案等
8月6日（木）	1. 社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員の選任について

(2) 人材育成

① 職員の資質向上のための仕組みの構築

(ア) 職場研修推進会議の実施 1回開催

- ・ 「個人研修計画・評価シート」に沿ったOJT（職務を通じた研修）の推進及びOFF-JT（職務を離れた研修）受講を支援した。

(イ) 職員の資格取得支援の実施（補助金交付）

- ・ 社会福祉士試験合格者1人からの申請に対して、資格取得補助金を交付した。

② 職場研修の充実

(ア) 全体研修の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(イ) 職員の自己啓発活動の支援（補助金交付等）

自己啓発活動の支援	資格取得に向けた勉強会実施のための施設利用認定	1件
	職員向け自主勉強会実施による講師謝礼支払	1件

③ 専門職を目指す人材の育成

(ア) 社会福祉現場実習の受入

実習項目	受入校・人数
社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士養成）	日本福祉教育専門学校 1人

(3) 財務

① 財源確保

(ア) 地域福祉基金の運用

(イ) 有料広告事業者の募集 協力事業者なし

② 会費制度への理解促進と会員の増強

(ア) 一般会費 (対象：一般世帯)

(イ) 特別会費・団体会費 (対象：個人、事業者等)

特別会員制度の在り方についての検討の実施 不実施

会員種別	会費	納入額
一般会員 (対象：自治会加入世帯(生活保護受給世帯を除く。))	1世帯 200円	4,905,600円
特別会員 (対象：個人、事業者等)	1口 1,000円	1,016,890円
団体会員 (対象：個人、事業者等)	1口 15,000円	45,000円
合計金額	—	5,967,490円

(4) 職員の福利厚生

① 職員の健康管理

(ア) 衛生委員会の開催 実施回数：4回

実施方法	衛生委員から産業医に対してファクスによる質疑応答方式
内容	①感染症について ・換気と室内湿温度管理について ・予防接種の必要性について ・ソーシャルディスタンスについて ②職員健康診断、ストレスチェックの結果について ③感染症対策について ・職員が参加した研修内容の共有 ④花粉症について ・感染症対策下での換気方法等について

(イ) 職員健康診断及びストレスチェック制度の実施

・職員健康診断

実施日	10月1日(木)～30日(金)
対象者数	51人
受検者数	49人

・ストレスチェック

実施日	10月1日(木)～14日(水)
対象者数	38人
受検者数	38人

(ウ) からだとこころの健康相談室の実施

※ 不実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(エ) 職員対象健康講座の開催 不実施

※ 不実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(5) 第3次発展・強化計画への取組み及び進捗管理【重点事業】

《資料編 1ページ 表-法人① 参照》

(6) その他の事業

① 法外援護事業

(ア) 火災見舞金の支給 なし

(イ) その他の法外援護 なし

② 団体事務

(ア) 下記団体の事務局業務を実施した。

- ・ 飯能市老人クラブ連合会
- ・ 飯能市身体障害者福社会

③ 補助金の交付

(ア) 地域福祉活動等推進事業補助金

補助金交付先	補助金額
富士見美化ボランティア草取り隊	21,495 円
加治東こども食堂	21,871 円
飯能市朗読ボランティアひびき	50,000 円
合計金額	93,366 円

(イ) 社会福祉団体補助金

補助金交付先	補助金額
飯能市民生委員児童委員協議会	850,000 円
飯能市母子愛育会	80,000 円
合計金額	930,000 円

2. 地域福祉部門

(1) はんのうふくしの森プラン推進事業

① 第3次はんのうふくしの森プランの進行管理

(ア) 地域福祉活動計画推進委員会の開催（飯能市と合同開催） 開催回数：1回
推進委員 15人（学識経験者、知識経験者で構成）

開催日	議案等
7月28日(火)	1. 第3次はんのうふくしの森プランの令和元年度実績報告について 2. 第3次はんのうふくしの森プランの令和2年度実施計画について

(イ) はんのうふくしの森プラン推進市民会議の運営 開催回数：1回

実施日	出席者数	議題
9月25日(金)	15人	1. 令和2年度の市民会議について 2. はんのうふくしの森みらいカレッジについて

(ウ) 飯能市地域福祉活動計画プロジェクトチームの開催 不実施

② はんのうふくしの森プランに基づく事業の推進

(ア) ふくしの森サポーターの養成及び普及

- ・ はんのうふくしの森プラン啓発用紙芝居「ふくしの森を探せ」を作成し、動画に編集しインターネットで公開
- ・ 「はんのうふくしの森みらいカレッジ」を開催

実施日	内容
10月31日(土) 11月7日(土) 8日(日)	内容：1日目 「はんのうふくしの森プランとこれからの地域福祉」講演及び地域福祉活動実践者との交流 2日目 「みんなが主役の会議って？」ファシリテーションに関する研修 3日目 「市内の専門相談機関との交流&地域デザイン」相談支援機関等を交えたワークショップ 参加対象：地域の活動に取り組んでいるもしくは取り組んでいきたい人 活動団体を立ち上げ、新たに活動を始めたいと考えている人 会場：総合福祉センター ※ 参加者25人。 19人が修了し、うち8人がふくしの森リーダーとして登録

(イ) はんのうふくしの森プランの周知

- ・ はんのうふくしの森プランポータルサイトの運営
地域の交流拠点や生活支援、移動支援の取組、身近な相談窓口をマップ化した「ふくしの森マップ」、地域活動のスケジュールを掲載した「ふくしの森カレンダー」等を掲載

(ウ) 地域における公益的な取組みの推進（埼玉県社協モデル事業）

- ・ 地域における公益的な取組意見交換会の実施

実施日	議題	出席者数
1月28日(木)	参加対象：市内社会福祉法人理事長ほか 1. 【説明】飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会における協議経過と内容 2. 【意見交換】飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立に向けて	9法人 22人

・飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会（仮称）設立準備会の実施

実施日	議 題	出席者数
8月5日（水）	1. 設立スケジュールの見直しについて 2. 事業計画(案)作成に向けた検討	17人
9月30日（水）	1. 会則（案）について 2. 事業計画(案)について	14人
2月22日（月）	1. 会則（案）について 2. 予算(案)について 3. 役員の選出方法について 4. 設立総会について	17人

(エ) 圏域ごとの計画づくり

圏域名（地区名）	会議名	回数
吾野	吾野地域のふくしを考える会	2回
名栗	名栗を考える会	2回

・南高麗地区においては、ささえあい南高麗が主催する研修会の開催を支援し、圏域ごとの計画づくりにつながる講演の開催を支援した。

(2) コミュニティソーシャルワーク事業

① コミュニティソーシャルワーク機能の強化

(ア) コミュニティソーシャルワーカーの充実

《資料編 3ページ～7ページ 表-地域①、①-(2) 参照》

- ・コミュニティソーシャルワーカーの増強に向けた取組
 - ・コミュニティソーシャルワーカーの資質向上の取組
- 研修等への参加はできなかった。

(イ) ふくしの森ステーションの機能強化

- ・コミュニティソーシャルワーカーへの連絡体制を強化するため、携帯電話を導入
- ・「ふくしの森ステーション 車いす“ちょい貸し”事業実施要領」に基づき、車いすちょい貸し事業を実施。8件の利用あり。

(ウ) コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの周知

地区別広報紙名	発行実績
ふくしの森ステーションなぐりだより	・年12回・約900部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションかじだより	・年6回・約600部/回（回覧）
ふくしの森ステーションみすぎだより	・年6回・約680部/回（回覧）
ふくしの森ステーションあがのだより	・年6回・約850部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションみなみこまだより	・年6回・約900部/回（全戸配布）
ふくしの森ステーションはらいちばだより	・年6回・約300部/回（回覧）
ふくしの森ステーションひがしあがのだより	・年6回・約120部/回（回覧）

(エ) 相談支援機関との連携強化

- ・自立支援型地域ケア会議への参加
- ・多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェへの参加
- ・圏域別連携会議への出席（飯能・第二区、原市場）

② 地域福祉推進組織の支援

(ア) 地域福祉推進組織の活動支援

- ・補助金の交付による財政的支援

【ふくしの地域づくり事業補助金の交付】

地域福祉推進組織名	①	②	③	④	総額
原市場地区社会福祉協議会	101,000	50,000	60,000	120,000	331,000
なぐり広場	50,000	50,000	104,903	0	204,903
加治東ふれあい広場	70,000	50,000	169,626	0	289,626
たすけあいあがの	50,000	50,000	400,000	0	500,000
ふくしの森・東吾野	50,000	50,000	102,000	0	202,000
ささえあい南高麗	50,000	50,000	80,000	0	180,000
あさひやまライフネット	125,000	50,000	207,207	0	382,207
合 計	496,000	350,000	1,123,736	120,000	2,089,736

※①一般会費還元補助 ②赤い羽根共同募金定額補助 ③はんのうふくしの森プラン推進活動費 ④食事サービス活動費補助

【車両の貸出】

地域福祉推進組織名	内 容
なぐり広場	・サロン活動等への送迎の取組に対するワゴン車1台の貸出
たすけあいあがの	・移動交通への取組に対するワゴン車1台の貸与
ふくしの森・東吾野	・移動販売事業に対するトラック1台の貸出

- ・コミュニティソーシャルワーカーによる事業開催等に対する技術的支援

支援内容
<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催（総会、役員会等）の支援 ・イベント、研修会等開催の支援 ・補助金申請等各種諸手続きに係る支援 ・事務局業務等に係る支援 ・関係機関等との連絡調整 ・その他通常活動への参加

(イ) 地域福祉推進組織交流会の開催

※ 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(3) 小地域福祉活動推進事業

① 見守り活動の推進

(ア) 地区民生委員児童委員協議会と連携した静かな見守り活動の実施

- ・見守りカードの作成及び共有 11地区・533件

◀資料編 8ページ 表-地域② 参照▶

(イ) 静かな見守り活動事業補助金の交付

- ・補助金交付先 9地区民生委員児童委員協議会
- ・補助金交付額（合計） 164,724円

② 地域の居場所づくりの推進

(ア) ふれあいいいききサロンの開催及び支援(各サロンボランティアグループとの共催)

《資料編 9ページ 表一地域③ 参照》

実施団体種別	実施団体数	合計実施回数	参加者数(延)
高齢者対象サロン	9 団体	57 回	594 人
親子・子ども対象サロン	2 団体	78 回	589 人
その他のサロン	4 団体	15 回	110 人
合 計	15 団体	150 回	1,293 人
実施団体への事業費交付	14 団体		285,500 円

※ 地域福祉推進組織主催のふれあいいいききサロンは含めない。

- ・コミュニティソーシャルワーカーによるサロン実施に対する技術的支援
- ・サロン運営等に必要な情報提供

実施事業	電話 DE お元気大作戦	
実施内容	目的	新型コロナウイルス感染症拡大により、ふれあいいいききサロンや食事会の開催自粛が余儀なくされたため、参加者の安否確認を電話により行うこと。また、必要に応じてコミュニティソーシャルワーカーが訪問し、相談等対応を行う。
	参加団体・実施件数	20 団体・1,315 件
	交付補助金額	60,350 円 (50 円/件)

③ 生活支援活動の推進

：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当初計画で予定していなかった下記事業について諸団体との共催により実施

(ア) 移動販売の実証実験(セブン-イレブン日高下川崎店共催)

目的	買い物がある方の支援		
開始時期	6月から実証実験を開始		
実施回数	下記各コースとも月2回		
実施コース	実施回数	実施場所	利用者数
精明・中山コース ※中山については9月から実施	22 回	宮沢、芦荻場、平松団地、小久保、双柳、中山	925 人
吾野コース	20 回	吾野、北川、南川	880 人
原市場・名栗コース	20 回	上名栗、赤沢、原市場、中藤中郷	948 人
中藤・中沢コース ※1月から実施	5 回	中藤中郷、中藤上郷、南	
合 計	67 回		2,753 人

(イ) 食材のおすそわけ会の開催（生活クラブ生協飯能支部共催）

目的	生活クラブ生協の「みんな食堂」が実施できない間、生活にお困りの世帯の支援及びフードロス対策として実施。
開始時期	5月から開始。なお、1月からはホンダカーズ埼玉西 東飯能店からも食材の提供を受ける。
実施回数及び利用世帯	11回実施し、利用世帯は延べ91世帯、配布食数は492食

(4) 生活支援体制整備事業（飯能市受託事業）

① 第1層における取組（会場：総合福祉センター） 開催回数：5回

開催日	内容等
6月25日（木）	・各地区第2層協議体の進捗状況について ・意見交換 テーマ「コロナ禍における地域活動の課題について」
8月27日（木）	・各地区第2層協議体の進捗状況について ・意見交換 テーマ「サービス事業所に対して行った新型コロナウイルス感染症に関するアンケートの集計結果の活用方法について」
10月29日（木）	・各地区第2層協議体の進捗状況について ・意見交換 テーマ「コロナ禍で高齢者の生活課題について、またその解決方法について」
12月17日（木）	・各地区第2層協議体の進捗状況について ・オンライン会議体験会
2月25日（木）	・オンライン会議 ・各地区第2層協議体の進捗状況について ・意見交換 テーマ「今年度の取組みを振り返って」

② 第2層における支え合いの仕組みづくり

(ア) (イ) に関する圏域ごと活動の詳細

《資料編 10ページ～13ページ 表一地域④ 参照》

(イ) 話し合いの場（協議体）の設置及び開催（13地区）

- ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりのための話し合いの場（協議体）の開催や、学習の機会づくり及び地域支え合いの仕組みづくりの実施
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの地域において話し合いの場が実施できなかった。

(ウ) 支え合いの仕組みづくり

- ・4市2町合同生活支援体制整備事業協議体委員研修会の実施

打合せ回数	内容等
全7回	共 催：飯能市社協、坂戸市社協、鶴ヶ島市社協、日高市社協、毛呂山町社協、鳩山町社協 内 容：コロナ禍における生活支援コーディネーターの活動を紹介する冊子の作成

・生活支援コーディネーターに関する研修の受講

開催日	内 容 等
10月16日（金）	研 修 名：生活支援コーディネーターブロック別連絡会議<西部> 方 法：オンライン会議 内 容：グループワーク、全体発表 参加者数：職員 8 人
2月19日（金）	研 修 名：第2回生活支援コーディネーターブロック別連絡会議 方 法：オンライン会議 内 容：趣旨説明、グループワーク 参加者数：職員 5 人
3月4日（木） 3月8日（月）	研 修 名：生活支援コーディネーター課題別研修 方 法：オンライン会議 内 容：講義、演習 参加者数：職員 4 人

(5) 福祉教育推進事業

① 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業

(ア) 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施

・福祉教育担当者説明会等の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

・限度額 30,000円/校の補助金の交付

社会福祉協力校	4校	ボランティア推進校	2校
精明小学校、富士見小学校、双柳小学校、美杉台小学校		飯能西中学校、南高麗中学校	
補助金交付額	103,944円	補助金交付額	40,000円

・新たなゲストティーチャーの発掘 1人

・学校における福祉教育実践の支援 9校

支援内容	件数
講演	5件
体験備品貸出	11件
体験指導	1件
ボランティア調整等	9件
サロン等への参加調整	0件
プログラム作成支援	6件

(6) ボランティアセンター運営事業

① ボランティア・市民活動支援事業

(ア) ボランティアセンター運営委員会の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(イ) ボランティア交流会の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(ウ) ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」の発行 発行回数12回

(エ) ボランティアニーズの需給調整（マッチング）の実施

相談件数	ボランティアニーズ相談	2件
	ボランティア活動相談	32件
	その他の相談（電話のみの問合せ等）	8件
	合 計	42件

(オ) ボランティアスペースの運営及び内容の充実

設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに関する最新の情報の収集、発信 ・ボランティアに興味のある方やボランティア活動者の交流の場 ・これらを通じたボランティアの育成、活動の活性化
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌の設置（月刊福祉、ふくしと教育、情報誌ネットワーク） ・防災パネル、視聴覚ライブラリの設置 ・ボランティア活動紹介 <p>来室者数 83人</p>

(カ) ボランティア・市民活動の支援

- ・ ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償送迎サービス補償、ふれあいサロン・社協行事傷害補償への加入手続きの実施
- ・ ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」、社協ホームページ、ボランティアスペースにて補助金等の情報の提供

② ボランティア育成事業

(ア) 彩の国ボランティア体験プログラム2020の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(イ) 各種ボランティア講座の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(ウ) 共学支援ボランティア講座への協力

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

③ 災害時に向けた取り組み

(ア) 災害ボランティアセンター設置及び運営訓練の実施

（会場：総合福祉センター）

開催日	内 容 等
9月13日（日）	<p>目 的：災害時、職員が各々の役割を認識し災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営に関わることができるよう、実践的スキルやノウハウについて学び、判断力を養い、主体的に行動する意識を身に着ける。また、現行の「飯能市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を改定すること。</p> <p>内 容：・新型コロナウイルス感染防止に配慮した運営体制のシュミレーション ・ボランティア受付、ニーズ受付、マッチング、送り出しのシミュレーション ・マニュアル、レイアウト図面、帳票様式の見直し</p> <p>参加者数：職員 23人</p>

(イ) 災害復興支援～飯能にいてもできること～

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(ウ) 飯能市災害ボランティアセンターの設置に関する関係機関との打合せ

内 容：災害時におけるボランティアセンターの開設に関する協定書の見直しについて

参加者：飯能市危機管理室、地域・生活福祉課担当者

(7) 外出支援（移送サービス）事業

① 福祉移送サービス事業の実施

・福祉車両の貸与及び車両運転士の派遣

利用登録者数				45人
利用回数（延）				163回
内 訳	きらめき号	トヨタレジアスエース	9人乗り・車いす、ストレッチャー	51回
	こじか号	エブリィワゴン	4人乗り・車いす	112回
車両運転士派遣回数				115回

(8) たすけあいサービス事業

① ヘアカットサービス事業の実施

（共催：飯能日高理容組合、飯能日高美容組合）

	利用登録者数	実施回数	協力店舗数
理 容	22人	延36回	10店舗
美 容	28人	延43回	12店舗

② ふれあい昼食会事業の開催

（共催：お楽しみ昼食会）

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

（共催：ふれあい精明）

実施回数	延利用者数
10回	355人

（共催：社会福祉法人名栗園・ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂）

実施回数	延利用者数
7回	262人

③ 友愛はがき事業の実施

ボランティア数	サービス利用者数	発行回数
1人	1人	3回

④ 保育サービス事業の実施

（共催：一時保育ボランティアグループほっと❤️ほっと）

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

⑤ ひとり親家庭日帰り旅行事業の実施

実施期間	内 容 等
フリーパスチケット利用期間 令和2年12月下旬～ 令和3年6月末日	行 先：さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト 参加者数：24世帯 61人 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、フリーパスチケットを配布。各家庭で楽しい1日を過ごしていただきました。

(9) 歳末たすけあい義援金配分事業

① 歳末たすけあい義援金配分事業の実施（対象：低所得世帯、遺児）

種別	世帯割	加算			遺児等 (@9,000円)	合計
	低所得世帯 (@16,000円)	心身障害者 (@1,000円)	要介護者 (@1,000円)	単身高齢者 (@1,000円)		
件数	(A) 136件	27件	3件	74件	(B) 21件	(A+B) 157件
金額	2,176,000円	27,000円	3,000円	74,000円	189,000円	2,469,000円

(10) 経済的支援事業

① 低所得世帯等を対象とした貸付事業

(ア) 低所得世帯生計援助資金貸付事業の実施

貸付件数・貸付額	13件・430,000円		
償還額	410,000円	内、当年度貸付分	325,000円
		内、過年度貸付分	85,000円
貸付残高	80件・2,298,500円		

② 生活福祉資金貸付事業（埼玉県社協受託事業）の実施

《資料編 14ページ 表-地域⑤ 参照》

③ 彩の国あんしんセーフティネット事業

(ア) 関係機関との連携強化

- ・ 市内社会福祉施設担当相談員との協働による生活困窮世帯への支援実施

支援開始月	世帯人数	現物給付の内容	支援金額	支援の期間
11月	1人	光熱水費	9,723円	3か月
12月	3人	光熱水費	99,249円	就労まで5か月
3月	2人	光熱水費	10,042円	

※埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が支出

- ・ 特定非営利活動法人フードバンクネット西埼玉と連携した食糧支援

依頼件数	10件
食材の受け入れ	127件
食材の提供	74件（高齢者9件・障害者2件・その他63件）

- ・ 飯能市生活困窮者自立支援調整会議への参加

④ 相談機能の強化

(ア) ケース支援検討会議の定期開催 不実施

(11) 権利擁護事業

① 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

(ア) 福祉サービス利用援助事業の実施

・ 利用者の状況：新規利用 0人、解約 5人

区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
利用者数	7人	3人	6人	16人

・ サービス利用状況

サービス種別	見守り	16人
	日常的金銭管理	16人
	書類等預かりサービス	1人
延利用件数	391件	

・ 相談件数 137件

(イ) 生活支援員連絡会の開催

開催日	8月31日（月）
会場	総合福祉センター
参加者数	9人
内容	・ 支援の進め方の講習 ・ 生活支援員同士の交流の機会の提供

(ウ) 福祉サービス利用援助事業の周知

・ 社協ガイドブック、ホームページの広報媒体を活用

② 法人後見事業

(ア) 法人後見事業の実施

受任件数	後見 12件
	保佐 1件
	補助 4件

(イ) 法人後見運営委員会の開催 開催回数：3回

（1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不実施）

内容	（議事） ・ 本会が受任するうえでの基準について （報告） ・ 後見人候補者となることに同意を受けた案件の進捗状況について ・ 市民後見人養成講座（実践編）について ・ 成年後見制度相談会の開催について ・ 市民後見人フォローアップ研修開催について
----	--

(ウ) 後見支援員スキルアップ研修の実施

※ 不実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

(エ) 法人後見事業の周知

・ 社協ガイドブック、ホームページへの広報媒体を活用

③ 市民後見推進事業の実施（飯能市受託事業）

（ア）啓発講演会の開催

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

（広報はんのうに成年後見に関する記事を掲載）

（イ）市民後見人フォローアップ講座の開催

※ 書面研修にて開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

④ 成年後見支援センター事業の実施（飯能市受託事業）

（ア）成年後見相談会の開催

開催日	3月26日（月）
会場	総合福祉センター
相談員	司法書士
相談件数	3件

（イ）成年後見制度に関する周知及び啓発

・ 相談件数 6件

⑤ 市民よろず相談の開催

実施日	毎月第3水曜日					
開催回数	12回	会場			総合福祉センター	
相談区分	法律	人権	行政	建築	不動産	合計
相談件数（延）	102件	2件	2件	1件	8件	115件

(12) 基幹型地域包括支援センターの運営（飯能市受託事業）

① 地域型地域包括支援センターの後方支援と総合調整の実施

（ア）困難事例・虐待事例への対応及び支援

処遇困難事例及び虐待事例を支援する 地域型地域包括支援センターの後方支援	86件
---	-----

（イ）高齢者支援のためのネットワークの形成

飯能市介護支援専門員協議会への実行委員としての参加及び 研修会への協力	11回
飯能市介護支援専門員協議会と地域型地域包括支援センター主 催の権利擁護研修会への協力	1回
成年後見相談会への協力	4回

（ウ）指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の実施 実績なし

（エ）地域包括支援センター連絡会議の開催 開催回数：4回

（オ）関係機関との連携強化を目的とした会議への出席

在宅介護支援センター訪問事例受領会参加	31回	
職種会議の開催	保健師・看護師連絡会	9回
	社会福祉士連絡会	12回
	主任介護支援専門員連絡会	11回
地域型地域包括支援センターミーティング参加	31回	
地域課題型地域ケア会議参加	2回	

② 地域ケア会議の開催

(ア) 自立支援型地域ケア会議の開催

会議名	開催回数
自立支援型地域ケア会議	9回
自立支援型地域ケア会議検討会※1	9回
自立支援型地域ケア会議検討会議※2	2回

※1 自立支援型地域ケア会議の後、会議の進め方などの振返りを毎回実施

※2 理学療法士や薬剤師など助言者も交えて年2回実施

会議の進行について検討

会議から抽出された課題や必要な社会資源について、介護支援専門員の資質向上や医療・介護の連携の視点で検討

③ 市が実施する認知症施策への協力

(ア) 認知症地域支援推進員連絡会への参加

・10回参加（内、2回オンライン参加）

(イ) 認知症初期集中支援事業への参加

・認知症専門医及び支援チーム員等との連携による認知症高齢者やその家族新規8事例をチーム員へつなぐ。

・チーム員会議8回

・検討会議2回（平成29年度から令和元年度までの事業評価の実施）

(ウ) 認知症サポーター養成講座の開催支援

・ステップアップ講座1回

④ 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェの運営支援

(ア) 事務局機能の支援

会議名称	参加回数
役員会	1回
正副役員会（集合型4回、オンライン型1回）	5回

(イ) 取組事業の支援

事業名称	参加回数
第6回市民フォーラム（テレビ放映、オンライン配信）	1回
医療と介護の連携ハンドブック策定作業部会（集合型）	3回

(13) 居宅介護支援事業（指定居宅介護支援事業所けあ・しゃきょう）

① 居宅介護支援事業の実施

(ア) 居宅介護支援事業

・サービスの提供実績 1,464件

(イ) 介護予防支援事業（受託）

・サービスの提供実績 66件

(ウ) 介護予防ケアマネジメント事業（受託）

・サービスの提供実績 75件

(エ) 質の高いケアマネジメントの提供に向けた取組

- ・ サービス提供体制（特定事業所加算Ⅱ）の継続確保
年間を通して特定事業所加算Ⅱ算定要件を満たしたサービス提供体制を継続確保した。
- ・ 職員（介護支援専門員）の資質向上

事業名	概要
ケアマネ定例会	開催回数：11回 会場：総合福祉センター 内容：新型コロナウイルス対応と対策について、サービス利用者満足度調査アンケートについて、介護報酬改定に向けて等
飯能市介護支援専門員協議会主催研修会	受講回数：6回 受講者数：延11人 内容：見える事例検討、野中式事例検討（2回）、精神疾患の特性と対応方法についての研修、高齢者虐待オンライン研修、高齢者におけるフレイルオンライン研修等 会場：総合福祉センター
その他	○高次脳機能障害に関する医療と福祉の連携を目指す研修会に参加した。 ○自殺対策研修会に参加した。 ○若年性認知症支援セミナー等に参加した。 ○地域型域包括支援センターから依頼のあった困難ケースを積極的に受け入れた。

- ・ 本会内部相談支援部署との連携強化
利用者支援にあたり、本会地域福祉推進係、生活支援係及び地域包括支援係の職員との連携強化を図った。

② 地域貢献の取組

(ア) 地域及び学校等における福祉活動への協力

- ・ 不実施

(イ) 飯能市介護支援専門員協議会実行委員会・防災分科会への参加及び研修への協力

会議名	参加者数	回数
飯能市介護支援専門員実行委員会	介護支援専門員 延12人	12回
主任ケアマネジャー部会	主任介護支援専門員 延3人	3回
飯能市介護支援専門員協議会防災分科会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催されず不参加	

(14) 広報啓発事業

① 情報発信事業

(ア) 社協だよりの発行

発行回数・部数	年3回（5月、7月、12月）29,000部/回（全戸配布）
内容方法検討	職員による広報・編集会議の開催

(イ) 社協ガイドブック2020（詳細版、概要版）の発行

概要版	仕 様：A3・二つ折り・両面カラー印刷 発行部数：700部 内 容：実施事業の概要を紹介 設置箇所：総合福祉センター、美杉台児童館、保健センター名栗分室、各地区行政センター。その他に、事業参加者等に配布
詳細版	仕 様：A4・21ページ・白黒印刷 発行部数：500部 内 容：実施事業の詳細を紹介 配 布 先：相談利用者、事業参加者等

(ウ) ホームページ、フェイスブックによる情報の発信の実施

(エ) SNSを活用した情報発信

・LINEアカウントの設置及運用の開始。登録者 201人。

② 飯能市社会福祉大会の開催

(ア) 第1部 社会福祉功労者表彰

表彰日	内 容 等
2月27日(土)	目 的：社会福祉功労者の顕彰及び表彰 内 容：社会福祉功労者表彰 ・飯能市社会福祉協議会会長表彰 50人・2団体 ・飯能市社会福祉協議会福祉のまちづくり表彰 5人・1団体 ・埼玉県共同募金会飯能市支会長感謝 6人・3団体 そ の 他：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典は開催せず 表彰のみ実施

(イ) 第2部 啓発事業

※ 不実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

3. 指定管理部門

(1) 飯能市総合福祉センター（飯能市受託事業）

① 総合福祉センター管理運営の実施

(ア) 総合福祉センター利用状況

《資料編 15 ページ～16 ページ 表一指定①、② 参照》

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開館日数	286日	328日	336日
利用者数（延）	34,147人	91,103人	104,529人

(イ) 市内送迎バスの運行（利用状況）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
運行回数	30回	1,259回	1,361回
利用者数（延）	14人	3,083人	3,831人

※4月10日（金）以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運行を全て不実施。なお、令和2年度をもって運行終了。

(ウ) 施設修繕等

- ・ 風除室雨漏り及び空調機修繕を実施

(エ) 総合福祉センター利用者対象アンケートの実施

- ・ コロナ禍により、来館者が特定の少数リピーターに限られていたため例年通りのアンケートは不実施

(オ) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応

- ・ 4月4日（土）、5日（日）及び9日（木）～5月31日（日）の期間を休館
- ・ 一般来館者を対象とした風呂、囲碁将棋、カラオケ、バンパーを利用制限及び中止
- ・ 市の指定管理者継続支援事業施策の活用及びいるま野農業協同組合からの寄贈により、館内入口に非接触型の検温器及び消毒薬噴霧器を設置
- ・ 受付簿への入館、退館時間の記入の徹底（団体においても利用名簿提出を徹底）及び1時間程度の利用時間制限の実施
- ・ 館内での食事及び長時間利用自粛の呼びかけの実施
- ・ 各部屋の利用定員を通常の1/2に設定及び利用後の室内消毒の徹底
- ・ 各センターの指定管理自主事業を中止または制限実施

(2) 身体障害者福祉センター事業（飯能市受託事業）

- ・ 事業実施状況総括表

《資料編 17 ページ～18 ページ 表一指定③ 参照》

事業区分	事業数	開催回数	延参加者数
相談支援の充実	1事業	4回	4人
機能訓練のための各種訓練等	5事業	808回	1,981人
障害者スポーツ・レクリエーション活動及び創作的活動の普及	4事業	22回	132人
ボランティアの養成及びボランティア活動の支援	0事業	0回	0人
啓発の充実	0事業	0回	0人
障害に配慮した、きめ細やかな対応	2事業	77回	77人
合計	12事業	911回	2,194人

(3) 老人福祉センター事業（飯能市受託事業）

- ・ 事業実施状況総括表

《資料編 19 ページ 表一指定④ 参照》

事業区分	事業数	開催回数	延参加者数
生活、健康等の相談及び見守り	0 事業	0 回	0 人
教養の向上	0 事業	0 回	0 人
生きがいづくり活動の推進	1 事業	15 回	125 人
地域高齢者リーダーの養成	0 事業	0 回	0 人
合 計	1 事業	15 回	125 人

(4) 児童センター事業（飯能市受託事業）

- ・ 室内及び貸出遊具の消毒のため、利用時間の2部制の実施（午前：9時30分～正午／午後：2時30分～4時30分）、及び遊戯室の壁紙の張替えを実施
- ・ 適切に消毒が実施できるよう、貸出遊具を制限
- ・ 事業実施状況総括表

《資料編 20 ページ～21 ページ 表一指定⑤ 参照》

事業区分	事業数	開催回数	延参加者数
遊びの提供	8 事業	222 回	1,458 人
健康の増進	1 事業	3 回	19 人
豊かな情操の育み	1 事業	13 回	56 人
子育て家庭の支援	1 事業	60 回	374 人
地域との連携、市民との協働	2 事業	5 回	47 人
児童の居場所提供	2 事業	19 回	128 人
合 計	15 事業	322 回	2,082 人

(5) 飯能市美杉台児童館（飯能市受託事業）

- ① 美杉台児童館管理運営の実施

- (ア) 美杉台児童館利用状況

《資料編 22 ページ～24 ページ 表一指定⑥、⑦参照》

- ・ 開館日数、利用者数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開館日数	249 日	286 日	291 日
利用者数（延）	15,989 人	28,134 人	29,264 人

- ・ 事業実施状況総括表

事業区分	事業数	開催回数	延参加者数
遊びの提供	3 事業	147 回	2,263 人
健康の増進	1 事業	10 回	66 人
豊かな情操の育み	0 事業	0 回	0 人
子育て家庭の支援	0 事業	0 回	0 人
地域との連携、市民との協働	1 事業	2 回	26 人
児童の居場所提供	2 事業	10 回	44 人
合 計	7 事業	169 回	2,399 人

(イ) 施設修繕等

- ・ 経年劣化により、固定電話に不具合が発生したため、費用面、利便性の両面から検討し、携帯電話に切り替えた。

(ウ) 利用者アンケートの実施

- ・ コロナ禍により、来館者が特定の少数リピーターに限られていたため例年通りのアンケートは実施しなかった。

(エ) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応

- ・ 令和2年4月4日(土)及び9日(木)～5月31日(日)の期間を休館
- ・ 指定管理自主事業を中止または制限実施
- ・ 利用者間の距離が保てるよう、遊戯室の床に区切りを設置
- ・ 個人利用について1時間程度の利用時間制限の実施
- ・ 適切に消毒ができるよう、貸出遊具を限定
- ・ 室内及び貸出遊具の消毒のため、利用時間2部制の実施
(午前：9時30分～正午/午後：2時30分～4時30分)
- ・ 市の指定管理者継続支援事業施策の活用及びいるま野農業協同組合からの寄贈により、館内入口に非接触型の検温器及び消毒薬噴霧器を設置
- ・ 受付簿への入館、退館時間の記入の徹底及び1時間程度の利用時間制限の実施
- ・ 館内での食事及び長時間利用自粛の呼びかけの実施
- ・ 各部屋の利用定員を通常の1/2に設定及び利用後の室内消毒の徹底

(6) 共催事業

- ・ 事業実施状況総括表

≪資料編 25ページ 表-指定⑧ 参照≫

事業区分	事業数	開催回数	延参加者数
総合福祉センター内共催事業	1事業	20回	163人
児童センターと美杉台児童館の共催事業	0事業	0回	0人
他機関との共催事業	0事業	0回	0人
合計	1事業	20回	163人

(7) その他の取組

① 施設の管理、運営及び日常の危機管理

(ア) 施設利用者参加による消防訓練の実施

- ・ 総合福祉センター、保健センターとの合同実施 1回
(他に、本会単独実施1回)
- ・ 美杉台児童館、美杉台地区行政センター、美杉台保育所との合同実施
2回